

創発的研究支援事業における 2025 年度新規研究課題の決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、創発的研究支援事業の 2025 年度研究提案募集における新規研究課題を決定しました。

本事業は、特定の課題や短期目標を設定せず、多様性と融合によって破壊的イノベーションにつながるシーズの創出を目指す「創発的研究」を推進するため、既存の枠組みにとらわれない自由に挑戦的・融合的な多様な研究を、研究者が研究に専念できる環境を確保しつつ長期的に支援します。また、創発を促進するため、支援期間中は異分野を含む多様な研究者同士が相互に触発し、切磋琢磨（せつさたくま）する「創発の場」を設けることで、破壊的イノベーションにつながるシーズの創出を目指します。

2025 年度研究提案を募集した結果、多様な研究者から 2,217 件の応募がありました。

募集締め切り後、書類選考と面接選考（事前評価）を実施し、257 件の研究課題とその研究代表者を採択しました。

研究課題や研究代表者は以下ウェブサイトをご参照ください。

URL : <https://www.jst.go.jp/souhatsu/index.html>

<添付資料>

参考 1：創発プログラムオフィサー

参考 2：選考の観点

<お問い合わせ>

<事業に関すること>

科学技術振興機構 創発的研究推進部

〒102-8666 東京都千代田区四番町 5 番地 3

加藤 豪（カトウ ゴウ）

E-mail : souhatsu-application@jst.go.jp ※お問い合わせは電子メールでお願いします。

<報道に関すること>

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町 5 番地 3

Tel : 03-5214-8404 Fax : 03-5214-8432

E-mail : jstkoho@jst.go.jp

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JST は、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JST は荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JST は、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

創発プログラムオフィサー

(敬称略、五十音順)

| 氏名 | 所属機関 | 役職 |
|--------|--|-----------------------|
| 有田 誠 | 慶應義塾大学 薬学部 | 教授 |
| 岡田 眞里子 | 大阪大学 蛋白質研究所 | 教授 |
| 沖 大幹 | 東京大学 大学院工学系研究科 | 教授 |
| 加藤 忠史 | 順天堂大学 大学院医学研究科 精神・行動科学 | 主任教授 |
| 龔 劍萍 | 北海道大学 大学院先端生命科学研究院／ 同 化学反応創成研究拠点 (WPI-ICReDD) | 教授 |
| 後藤 真孝 | 産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 | 上級首席研究員 |
| 斎藤 通紀 | 京都大学 高等研究院 | 教授 |
| 榊原 均 | 名古屋大学 大学院生命農学研究科 | 教授 |
| 酒見 泰寛 | 東京大学 大学院理学系研究科 | 教授 |
| 塩見 淳一郎 | 東京大学 大学院工学系研究科 | 教授 |
| 鄭 雄一 | 東京大学 大学院工学系研究科／同 医学系研究科 神奈川県立保健福祉大学 | 教授 理事・副学長・ 研究科長 |
| 馬場 秀夫 | 化学及血清療法研究所 | 理事長 |
| 古原 忠 | 東北大学 金属材料研究所 | 教授 |
| 森 初果 | 東京大学 物性研究所 | 教授 |

※所属・役職は評価時点のもの

選考の観点

創発的研究支援事業の選考の基準は、以下の通りです。

- a. 本事業の趣旨に合致しているか。
- b. 本提案募集の対象となる研究提案であるか。
- c. 研究提案者自らの構想に基づく研究提案であるか。
- d. 研究構想を実現しようとする意欲があること、実現の可能性が感じられるか。
- e. 必要な研究遂行能力および体制を有しているか。
- f. 研究構想の実現に向けた実践や他の研究者との議論・相互触発の取り組みなどを通じて、新興・融合領域の開拓、関係研究分野の継続的な発展への貢献が期待できるか。
- g. 創発的研究の遂行にふさわしい研究環境の確保に向けて、必要に応じて研究機関に対し協力を求めたり、調整したりする意志があるか。
- h. 募集要項に示した独立に関する条件について、独立見込み（3年以内）の場合、独立に向けた意欲が高く、また可能性が高いか。

また、研究費の「不合理な重複」ないし「過度の集中」に当たるかどうかも、選考の要素としました。

以上